

TAKEFU WEEKLY

Rotary



創 立/1954年(昭和29年)6月30日
 事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
 TEL. 0778-23-5210・FAX. 0778-22-2333 E-mail:takefur@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
 会 長/三村 昌之 幹 事/ 宮前 貴司
 会報委員長/西本 久美子

第3147回 例会記録 令和元年11月19日(火)

本日出席会員 31名

メイクアップ(前々回) 3名

出席率(前々回補正) 71.15%

ロータリーソング「我らの生業」

会員総数
52名

会長挨拶 第66代会長 三村昌之

皆さん、こんにちは。今日のゲスト卓話は、「ふくい働き方改革推進支援センター」の野崎利江さんです。野崎さんは社会保険労務士さんであり、



なお且つ福井フェニックスRCに所属されているロータリアンだとのこと。働き方改革での重要事項として①長時間労働②非正規と正社員の格差③労働人口不足の改革があるそうですが、

医師の過労死ラインが普通の人の80時間の二倍160時間で人の倍働けというのは腑に落ちないので、後に一緒に勉強させていただきたいと思います。

ところで、このところ風邪の患者が増えてきました。日中はある程度暖かく、朝夕が急に冷え込んで寒暖の差が大きいのが風邪の患者が増えている原因だと感じています。うちのホームでも、いつもより遅いですが、風邪(かぜ症候群・感冒)の患者が現在増えています。もう5~6人はいるでしょうか。風邪に対して、総合感冒薬のPL配合顆粒という薬を処方するのが一般的ですが、この薬は鼻汁・鼻閉・咽頭痛・喉頭痛・頭痛・関節痛・筋肉痛・発熱の改善・緩和作用があるので非常に重宝している薬で、皆さんも風邪薬としてどこの病院でも処方される薬だと思います。しかしながら、サリチルアミドというアスピリン系の薬が入っていて、喘息や出血傾向などを誘発すると言って、小児科では非常に嫌われている薬でもあります。この薬は発売されたのが1962年2月と57年も前に発売されて薬価が非常に安い薬ですから、大人の風邪薬としては医療費を圧迫しない優良で優秀な風邪薬だと思います。

っています。しかしながら、私も40年間も風邪に同じ薬を使っていると処方するのに飽きてきますし、風邪の治療はあくまで対症療法しかありませんので、今では症状に応じてピンポイントに漢方薬を使い分けようとしています。発熱に対する漢方薬、鼻水に対する漢方薬、頭痛・咽頭痛に対する漢方薬、咳に対する漢方薬、そして西洋の薬では見当たらない全身倦怠感、食欲不振に対する漢方薬などを使い分けようとしています。

抗生物質の投与の是非ですが、風邪はウィルスによる疾患であり必要ないと言われ続けていますが、最近は高齢者が多く施設内感染では肺炎などをすぐに起こすため重症例では投与を認める風潮でもあります。

風邪に対する薬の話をしました。治療の基本は、何といっても保温・安静・休養・水分補給が大切であり、風邪を引いたら薬を飲んで無理やり仕事をするというよりも、仕事は絶対に休み、一日に2リットルの水分を飲んで蒲団を被ってしっかりと寝て自己免疫力に頑張ってもらうことが大事だということを仕事人間の人に敢えてお勧めします。

プログラム

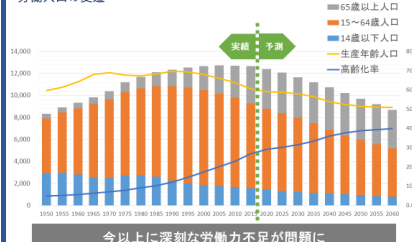
ゲスト卓話 「働き方改革」取り組むポイント
 ふくい働き方改革推進支援センター 野崎利江氏



ふくい働き方改革推進支援センターでは、社会保険労務士などの専門家が、無料で事業主の方からの労務管理上のお悩みをお聞きし、就業規則の作成方法、賃金規定の見直しや労働関係助成金の活用などを含めたアドバイスを行っております。

働き方改革の全体像

労働人口の変遷

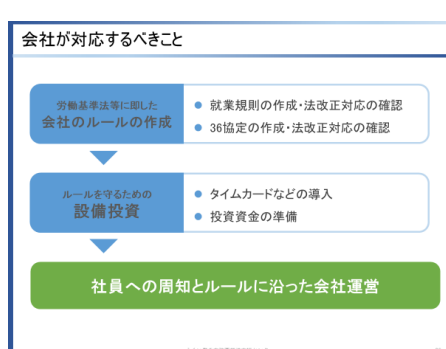


人口が減るといっても、生産年齢人口が減る問題

働き方改革の全体像です。人口の推移ですが、2020年で1億4千万という人口ですが2050年1億人を下回るといって推定です。

題があります。

働き手を増やす、出生率を上昇させる、労働生産性を向上させる、という目的のもとで、2018年6月29日に「働き方改革推進法」が成立されました。働き方改革の3本柱は、■長時間残業の削減 ■非正規労働者と正社員の格差是正 ■多様な働き方の実現 です。働き方改革の基本的な考え方「働き方改革」は、働く方々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるようにするための改革で、今まで働き手とされていなかった人にも働ける環境を



整え、一億総活躍社会実現に向けた取り組みです。

ふくい働き方改革推進支援センター「ふくいジョブステーション」は、福井商

工会議所ビル1階にあり、働き方改革に向けて、特に中小企業・小規模事業者の方々が抱える様々な課題に対応するためのワンストップ相談窓口です。労務管理・企業経営の専門家があなたのお悩みを解決します。ご相談項目に応じて、担当者からご連絡もさせていただきますので、よろしくお願いたします。

プログラム (10月29日)

炉辺会合第3班 2019年10月8日 神崎家にて

責任者：藤谷家也 発表者：宇野晃成

参加者：上野さん、藤本さん、柿谷さん、米岡さん、竹内さん、三村会長

令和にこだわらず、武生RCに関してのご意見を皆さんから拝聴した。経験の浅い方々からは、「ロータリー」そのものが、分かっている様な分からない様なところが在り、他のRC



を訪ねるなどして、その活動などを通して、「ロータリー」をもっと理解したい。会員の平均年齢(現在60歳半ば)が

上昇していることに関し、若手のメンバーを増強することで、会の活性化を図れるのではないだろうか。会員増強のために規則など(例

えば出席や服装)を緩める、方向を感じるが、その緩和策はメンバー減少の対策にはならないと感じる。鶏と卵ではないが、まずは会を活性化し、魅力を増やすことの方が大切ではないか。また奉仕活動に関して、経験の浅い深いかかわらず、RCでは、ただただ物品を提供するだけではなく過度な負担を生じない程度に多少なり汗をかく様な活動を行っていくべきではないだろうか。

さらに委員会について、ロータリーは単年度の考えから、委員、特に委員長が一年ごとに替わっていくため、しっかりした事業ができていない。複数年度同じ委員会に属すること、加えて委員会数を減らすことがクラブの活性化につながるのではないだろうか。

概ね以上の様なご意見を拝聴したあと、藤谷責任者から、規則に関しては、定款や細則には、服装規定などは一切ないので、「見苦しくない服装」のように我々の判断によって決めていけば良いのではないだろうか？ロータリーの友の「侃々諤々」でもその様な議論がなされている。現在のRIの考えは、クラブの自主性を重んじる流れとなってきたことから、出席や服装、メーキャップ、ひいては委員会や例会のあり方まで、会員皆で話し合っ、これまでに捕らわれることなく発想の転換を伴ってクラブ自体を時代に即したものと、自主的に変更していけば良い様に思う。そのためにも各個人がもっとロータリーについて学ぶことが必要ではないかと話された。

ニコニコ箱・・・12,000円 累計 631,000円

・野崎さん、卓話よろしくお願いたします。

【三村昌之】【宮前貴司】

・12月は諸事重なり欠席いたしますこと申し訳ございません。 【小林幸一】

・KAPLA ワークショップ、地区委員会出席のため欠席させていただきます。 【田中 茂】

・早退させていただきます。 【西野昌美】

・本日早退のおわび 【市川隆成】

・敦賀火力発電所が運転再開しました。【奥村 充】

例会変更情報/福井県内ビジター受付 (12月1日~12月10日)

12月4日 福井北RC 12:00~12:30 ザ・グランユアーズフイク (ホテルフジタ福井 1階 カフェテリア)

*変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

※皆さんの趣味の写真(山登りやゴルフ、旅行など)メールください。

本日(11月30日)例会 移動例会 大江戸別館 12:00~ KAPLA ワークショップ	12月3日 第一例会行事 年次総会 新入会員卓話 市川隆成会員	12月10日 休 会	12月17日 健康管理 上野巖委員長
---	--	---------------	--------------------------